授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　家庭科　）　　学年（　１学年　）

目指す授業

衣食などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業。

授業・アンケート等の課題分析

・１学期のアンケート結果で、授業の初めに目標（めあて・ねらい）が示されているかという質問に否定的回答が 9%（3 名）だったり、授業の最後に学習内容を振り返る場面があるかという質問に否定的な回答が 24%（8 名）だったので、授業の始めに授業の目標（めあて・ねらい）を明確に伝えて、授業を行うようにしたが、あまり変化は見られなかった。
・授業で「学ぶ楽しさ」を感じるかという質問で肯定的回答が前回の 69%（23 名）から 83%（26 名）に増えた。

成果と課題

成果

・ノートやプリントを点検し、学習定着を確認した結果、提出物の内容を充実させたり、提出期限を守る生徒が増えた。
・授業アンケートで「学ぶ楽しさ」を感じる生徒が増えた。
・被服作品製作で、計画的に作業をすること、作品を完成させて達成感を味あわせることができた。

課題

・授業アンケートで授業の初めに目標（めあて・ねらい）が示されているか、最後に学習内容を振り返る場面があるかという質問に否定的な回答があり、改善する指導をしたにもかかわらず、生徒に実感を持たせられなかったので、来年度はさらに改善していく。

授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　家庭科　　）　　学年（　２学年　）

目指す授業

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業。

授業・アンケート等の課題分析

・１学期の生徒アンケートで授業の初めに目標（めあて・ねらい）が示されているかという質問に否定的回答が前回 19%（4 名）だったが 10%（2 名）に減った。また、授業の最後に学習内容を振り返る場面があるかという質問に否定的な回答が 24%（5 名）から 11%（2 名）に減った。

成果と課題

成果

・３学期のアンケート結果にあるように授業の初めの目標の提示、授業の最後に学習内容の振り返りを改善したことで授業内容の理解を深められた。
・ミシンの使い方や手縫いの糸の始末の仕方などは、教師の模範だけでなくＩＣＴ機器を使用して指導したことにより、良い作品作りにつながった。
・トートバック製作において、計画的に作業を進めさせ、作品を完成させることによる成就感、達成感を感じさせることが出来た。

課題

・生活経験が不足していると思われる生徒に対して、今後も授業に体験的な授業やＩＣＴ機器を使用しての授業を行うようにする。

授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　家庭科　）　　学年（　３学年　）

目指す授業

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業。

授業・アンケート等の課題分析

・１学期のアンケートでは、授業の初めに目標（めあて・ねらい）が示されているかという質問に否定的回答が 29%（2 名）から 9%（1 名）に減った。また、授業の最後に学習内容を振り返る場面があるかという質問に否定的な回答が 43%（3 名）から 45%（5 名）に増えた。

成果と課題

成果

・幼児のおもちゃ製作では、下の学年で学習した知識や技能を生かして作品が製作できるように、完成見本の他に段階見本を掲示し、生徒が作業をしやすくしたため、良い作品ができて展示会に全員の作品ができた。
・家族に関わる学習では、ＤＶＤを視聴したり新生児の人形を掲示したりして、実体験の少ない生徒でも分かりやすく学べるよう指導することにより、具体的に考えさせることができた。

課題

・授業の最後に授業を振り返る場面をつくることを意識してきたが、アンケートからは振り返りの場面が少なかったという結果だった。生徒に実感をもたせられるよう工夫改善の必要性がある。